

様式第2号（第3条関係）

（煙火以外の場合）

（その1）

火 薬 類 消 費 計 画 書

1 消費の方法

(1) 発破(採掘)物件の容量

立方メートル

(2) 火薬類の算定

使用火薬類 必要数量	爆薬	火 薬	工業雷管	電気雷管	導火線	コンクリート 破砕器		
1立方メートル 当たり	kg	kg	個	個	m	個		
立方メートル								
立方メートル								
計								

(3) 作業の内容

消費方法	使用火薬類	火薬・コンクリート破砕器				爆 薬							
		小	割	地	山	小	割	地	山				
1日の最多発破回数				回				回					
1孔の穿孔長	最長			m				m					m
	最短			m				m					m
1孔の装薬量	最大			kg(個)				kg(個)					kg
	最少			kg(個)				kg(個)					kg
1回の最多斉発数(電気発破)				発				発					発
1回の最多連続発破数(導火線発破)				発				発					発
1回の最大発破装薬量				kg(個)				kg(個)					kg

(4) 火薬類の消費見込量

ア 1日の消費見込量（火薬類取扱所に存置する火薬類の数量）

種類	爆 薬	火 薬	工業雷管	電気雷管			
数 量	kg	kg	個	個			

イ 1月の消費見込量（火薬+爆薬） 25キログラム（未満、以上）

2 火工所及び火薬類取扱所

(1) 火工所の構造は ア 建物（木造、コンクリートブロック造、鉄製）

イ テント

(2) 火薬類取扱所は ア 設置する (ア)（木造、コンクリートブロック造、鉄製）

(イ)（見張人を配置する、見張人を配置しない）

イ 設置しない

3 他法令に関する許認可を ア 必要とする

イ 必要としない

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

